

第4回 「脳卒中リハビリテーションのあり方をいま一度考える」

脳卒中リハビリテーションにおける
効果的な治療を実践するための
評価の“考え方”“進め方”“あり方”を

いま一度考える

日時 2023年
1月27日 (金)
18:30-21:30

開催方法 Web開催
(zoomウェビナー)

参加費 2,000円
(お支払いは口座振り込みとなります)

申し込み締切 1月20日 (金)

講師 藤野雄次 先生
(順天堂大学)
(日本神経理学療法学会理事)
井上真秀 先生
(埼玉医科大学国際医療センター)

講師は、評価やクリニカルリーズニングなど多数の書籍を執筆されている藤野雄次先生と、全国的にも質の高い医療を提供していることで有名な埼玉医科大学国際医療センターの井上真秀先生に臨床家の立場よりご講演いただきます。

本研修会は登録理学療法士更新3ポイントを取得可能です

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通3丁目5番11号

桜十字福岡病院

お問い合わせ先
TEL:092-791-1079 担当:脇坂

お申し込みは
こちらから

SACRA公式
LINEアカウント



- 1 QRコード読み込み後、友だち追加をお願いします
- 2 「SACRA」アカウントからメッセージが自動送信されます
- 3 必要事項を入力して、ご返信ください

研修会の趣旨

脳卒中は脳の損傷部位や程度により多様な症状や障害を呈するため、障害像や問題点も個人差が大きく、**一人ひとりに応じた適切な評価**を行い、**得られた評価結果からどのようにその障害像を捉え、最適な治療プログラムへ結びつけていくかの臨床思考過程が治療効果のカギを握る**と考えます。

本研修会は、脳卒中リハビリテーションにおける効果的な治療を実践するための評価の考え方・進め方・あり方をいま一度考える研修会と致します。

time table

18:30-20:00

講演①

「脳卒中片麻痺患者の起立・立位を紐解く評価戦略」

講師 井上真秀 先生

(埼玉医科大学国際医療センター)

Abstract

脳卒中片麻痺患者では下肢のBrunnstrom recovery stageがVであっても、起立から立位の過程で、麻痺側の膝関節を十分に伸展できないことがある。この原因は何か？この現象に対峙した際に、MMTなどの機能評価や、BBSなどのバランス評価以外に、どのような評価を行うことが、原因の特定と効果的な治療につながるのか。本講演では、脳卒中片麻痺患者の起立・立位のなかで、臨床で多く遭遇する現象への臨床思考過程を紹介する。

20:00-21:30

講演②

「Pusher現象の治療開発につながる評価の考え方」

講師 藤野雄次 先生

(順天堂大学、日本神経理学療法学会 理事)

Abstract

Pusher現象は主観的身体垂直 (SPV; subjective postural vertical) の障害が原因と考えられているが、運動麻痺や体幹機能障害、転倒恐怖感といった心理的側面など、Pusher現象例は様々な背景が相互作用している。本講演では、治療方法の開発への示唆となるよう、SPV以外の要素に対する評価、解釈、分析の重要性を提示する。